KYUSHU UNIVERSITY

九州大学の医療系スタートアップ支援
QUICK

AMED　橋渡し研究プログラム
大学発医療系スタートアップ支援プログラム
九州大学拠点

2027年度公募（S1・S2）説明会



九州大学
生命科学革新実現化拠点
橋渡研究推進部門

はじめに

このような方におすすめの公募です

研究者の方

- 将来スタートアップを考えている
- 医療シーズの社会実装を目指している

スタートアップの方

- 起業直後の医療系スタートアップ
- 非臨床開発を進めたい
- VC投資に向けたデータを整備したい

QUICK
QUANTUM UNIVERSITY INNOVATION CYCLE KYUSHU

今回の公募は S1 / S2

本日の内容

1．九州大学の医療系スタートアップ支援 **QUICK**について

2．2027年度公募内容

3．質疑応答

KYUSHU UNIVERSITY

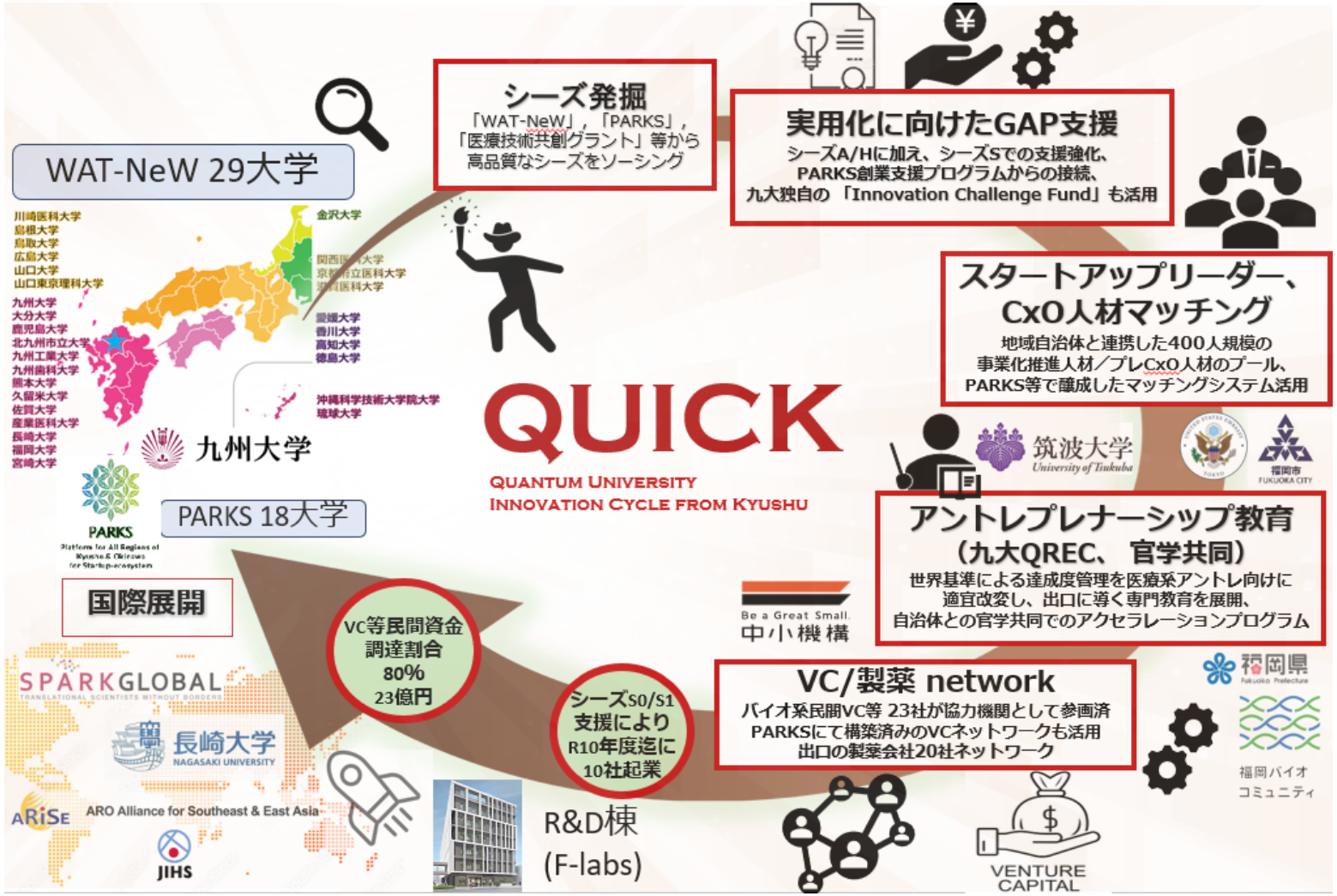
１．九州大学の医療系スタートアップ支援

QUICKについて

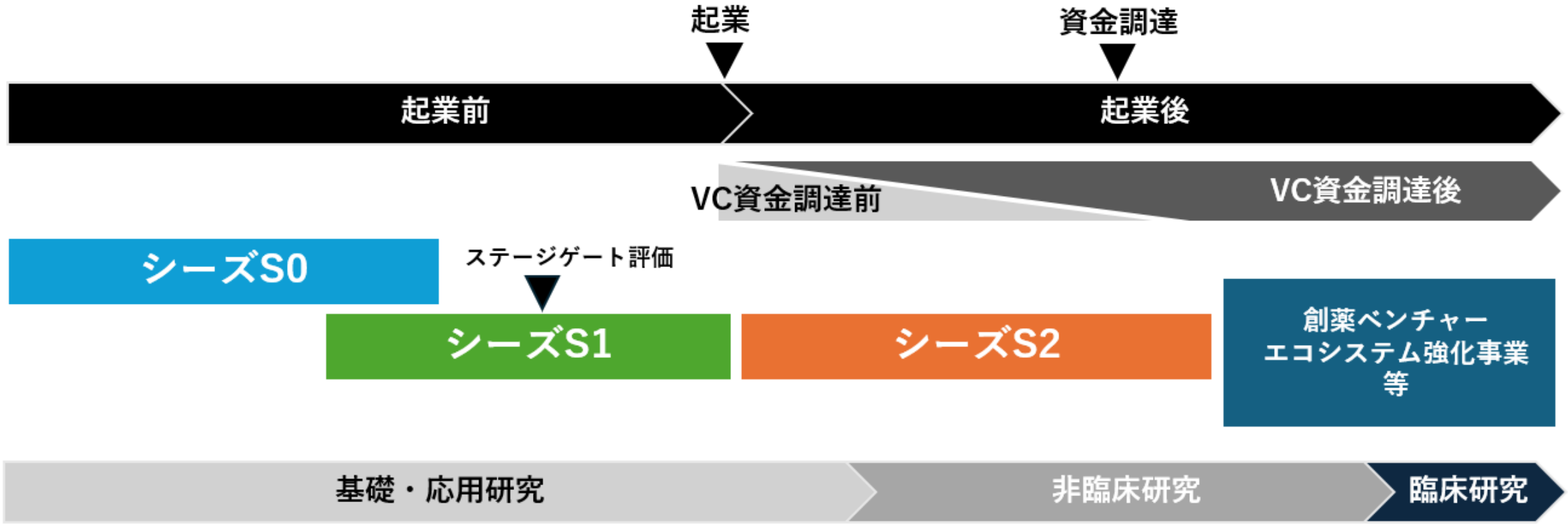
KYUSHU UNIVERSITY

大学発医療系スタートアップ支援プログラム

総合知を新医療へ、九州・沖縄・西日本を挙げてアジアへ繋がる医療系スタートアップエコシステムの構築

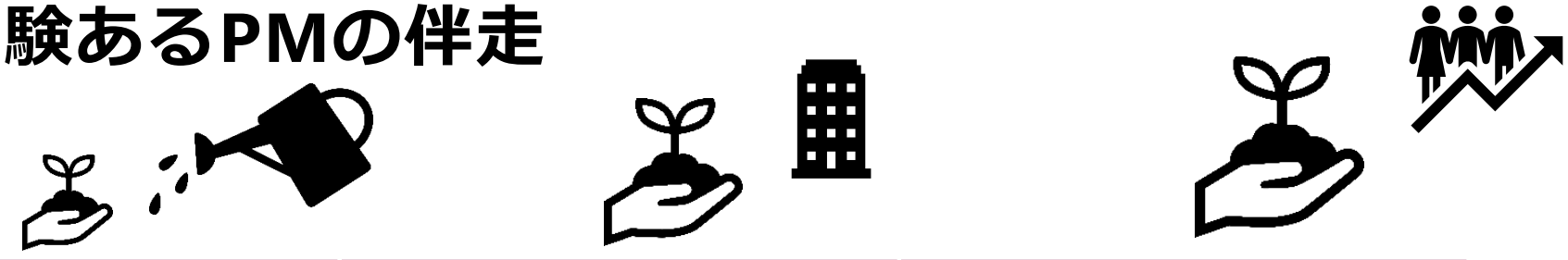


公募課題



シーズS0（若手育成）　シーズS1(起業前）　シーズS2（起業後）

GAP支援：経験あるPMの伴走



S0 S1 S2



橋渡しPMハンズオン+学産PM伴走支援

医療系に特化した支援



研究開発

- ロードマップ策定
- 実験計画

etc.



薬事戦略

- TPP
- 明確な薬事出口
- least burdensome path

etc.



知財戦略

- 医療系シーズ事業化に資する強い特許化
- backbox化

etc.



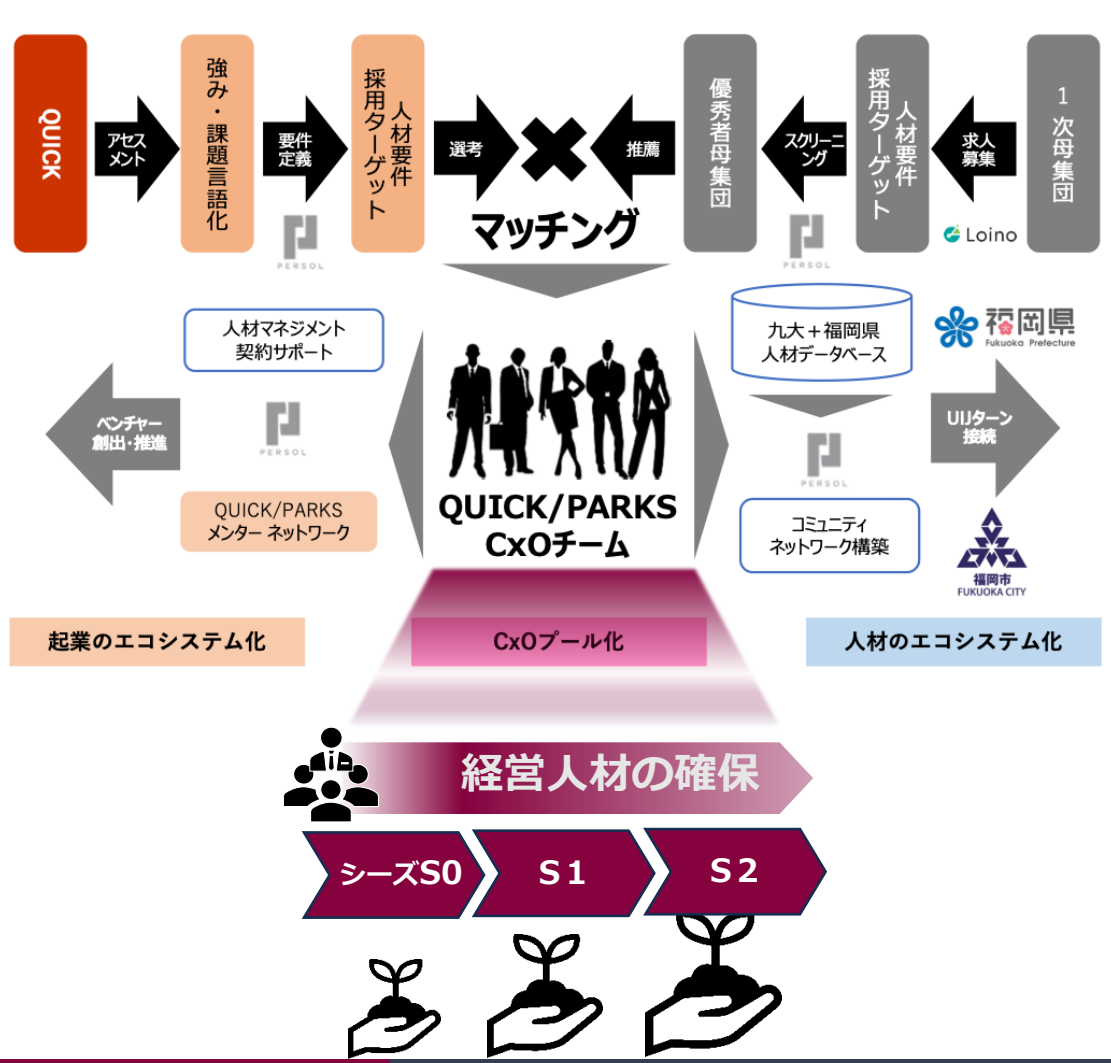
事業戦略

- STP
- GMP/QMS
- 保険戦略
- 有利な導出
- M&A/IPO

etc.

経営人材候補(CxO)プールを構築

CxOバンク（九州大学＋福岡県商工部新事業支援課構築）400人以上登録



CxO人材構成：
CEO 31%, 事業部長21%, CFO 12%, CMO 9%, その他27%

居住地域：
首都圏67%, 関西圏11%, 九州13%

CxOバンク 人材 例：

A氏：
- 大手外資系製薬企業　研究開発チーム リーダー
- 大手外資バイオ系企業　CRO事業の マーケティング・セールスマネジャー
- 国内大手化学メーカーにてバイオ関連 新規事業開発

B氏：
- 大手外資系医療機器メーカー マーケティング、プロダクトマネジャー
- 海外勤務経験5年以上。
- 国内医療機器SUにて事業開発、 製品開発業務を担当。



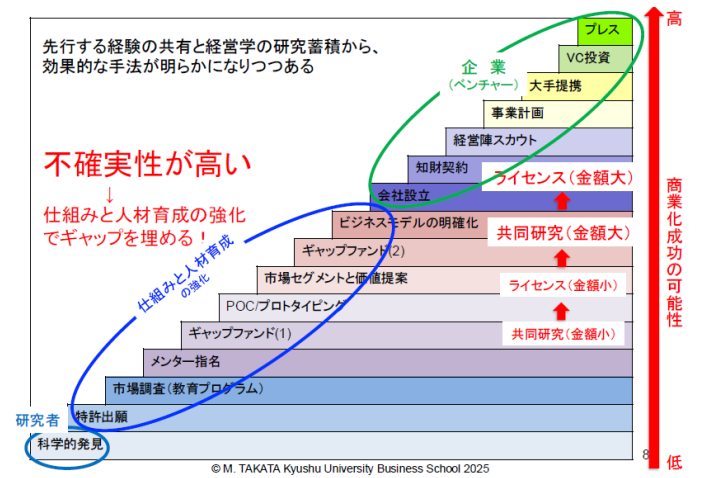
ビジネスの力が医療を変える。アジアへ繋がる医療系スタートアップエコシステム「QUICK」が目指す新薬・医療機器等開発の未来

アントレプレナーシップ教育：重層的提供

1. QREC

Robert Huang Entrepreneurship Center (2010年創設)

1) EUのEntreComp（国際水準）に整合したカリキュラム
2) 九州大学中期計画に位置付けて、継続的運用を担保
3) 学生の自主活動支援(Student Initiative Program)による豊富な実践機会



2. TSMTP

NIH/NCATSのプログラムに沿って橋渡し・創薬の基礎



3. FBCAP

(福岡バイオコミュニティ・アクセラレーションプログラム)



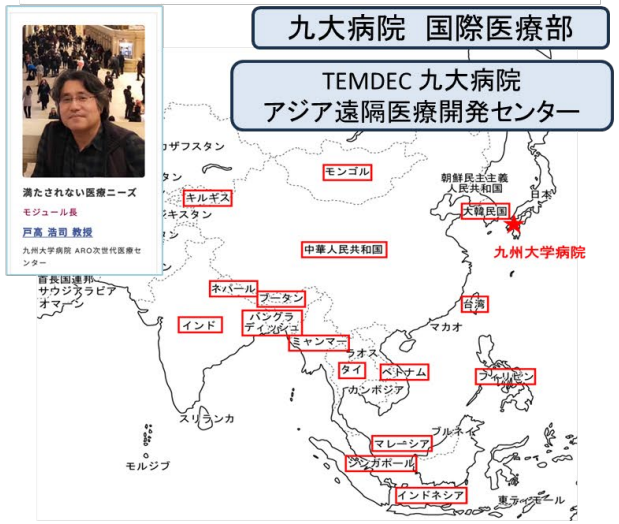
アジアから国際展開・感染症開発の強み

KYUSHU UNIVERSITY INSTITUTE for ASIAN and OCEANIAN STUDIES
九州大学 アジア・オセアニア研究教育機構

満たされない医療ニーズモジュール

九大病院　国際医療部

TEMDEC 九大病院
アジア遠隔医療開発センター



17か国との臨床研究ネットワーク

Clinical Research MalaysiaとMoU



長崎大学 感染症研究出島特区

DIDA
DEJIMA ID Alliance

SCARDA

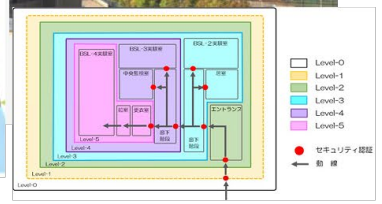








BSL-4、熱帯医学研究所を含む感染症開発体制

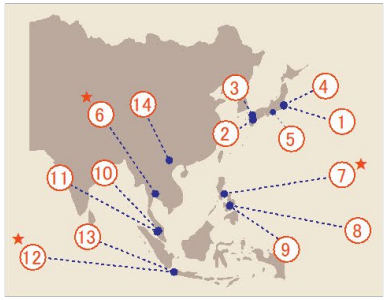


フィリピン・サンラザロ病院とMoU



NCGM → JIHS

ARiSE ARO Alliance for Southeast & East Asia



タイ	⑥ マヒドン大学シリラート病院 ★NCGM 連携オフィス設置
フィリピン	⑦ フィリピン大学マニラ校（フィリピン NIH、フィリピン総合病院含む） ★NCGM 連携オフィス設置 ⑧ コラソン・ロクシン・モンテリバノ・メモリアル・リージョナル病院 ⑨ ウェストビサヤ州立大学
マレーシア	⑩ クリニカル・リサーチ・マレーシア ⑪ マラヤ大学医療センター
インドネシア	⑫ インドネシア大学 ★NCGM 連携オフィス設置 ⑬ シロアムホスピタルグループ モフタルリアディインスティテュート・フォー・ナノテクノロジー
ベトナム	⑭ 国立バクマイ病院

アジア諸国の開発ネットワーク



福岡市・県から国際展開

福岡市

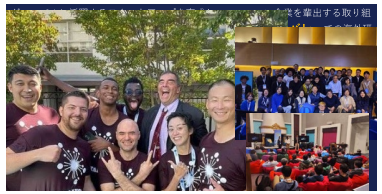
11カ国・地域
15拠点



高島市長



JAPAN,FUKUOKA
STARTUP
PACKAGE
for Foreign Entrepreneurs



国家戦略特区（福岡市）で起業家を優遇

- スタートアップビザ
- 事務所等の賃料補助
- スタートアップ法人減税

福岡県

福岡バイオコミュニティ
FUKUOKA BIOCOMMUNITY





服部知事　石橋総長　ヒーリー知事

2023年

定期的にベンチャーと共にMass Bio等 Boston訪問

SPARKGLOBAL
TRANSLATIONAL SCIENTISTS WITHOUT BORDERS



Stanford大を中心としたTRネットワークへの接続



福岡ライフサイエンス産業拠点：f-labs:エフラボを新設

敷地内R&D施設 概要

外観イメージ



フロア構成



施設イメージ



f-labs

- 九州大学病院に直結
- 2～3階に九州大学AROと生命科学革新実現化拠点
- 4～6階にライフサイエンスラボ（BSL-2まで対応可能）とオフィス
- シーズS採択者は、1階のコワーキングオフィスを無償提供

- 創業初期から 臨床開発までのエコシステムを構築し、 グローバルで戦える創薬プレイヤーの 輩出を目指す

QUICKの特徴

一般的な研究公募との違い

	一般的な研究公募 （科研費等）	本プログラム
目的	研究	社会実装
支援	研究費	研究+事業化・起業
体制	PI中心	PM伴走
成果	論文	起業・投資

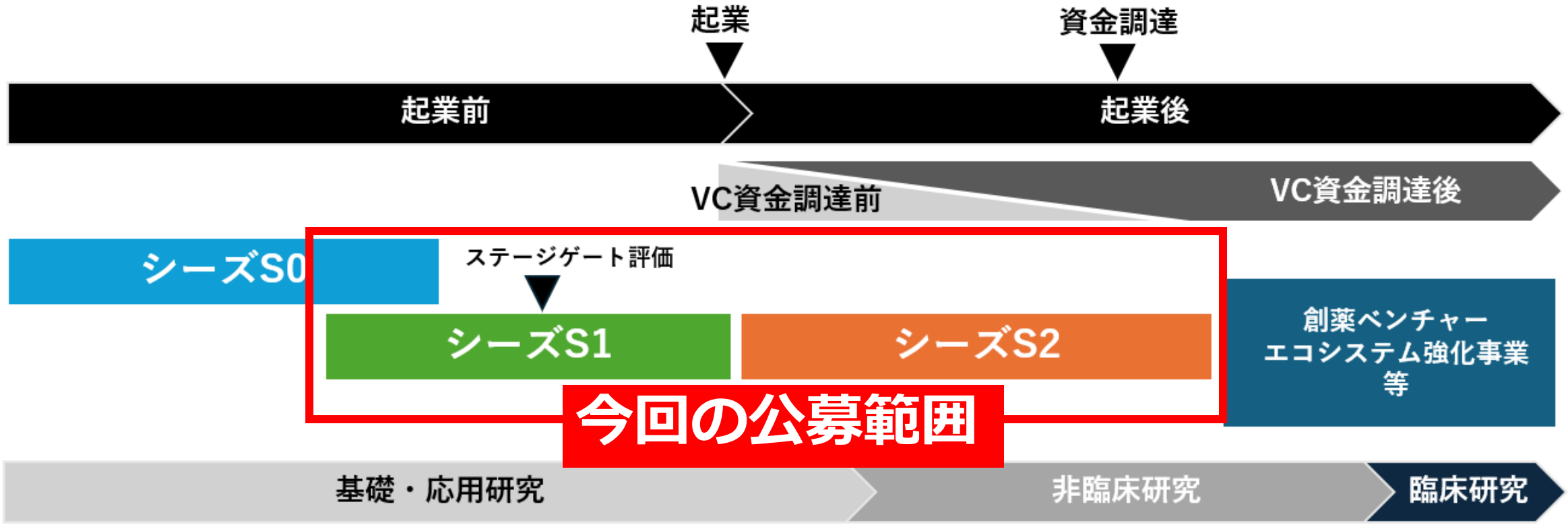
QUICKで提供するもの

- 研究費
- CEO候補の紹介
- VCネットワーク
- PMによる伴走支援
- アントレプレナーシップ教育
- 国際展開

2．2027年　公募内容

KYUSHU UNIVERSITY

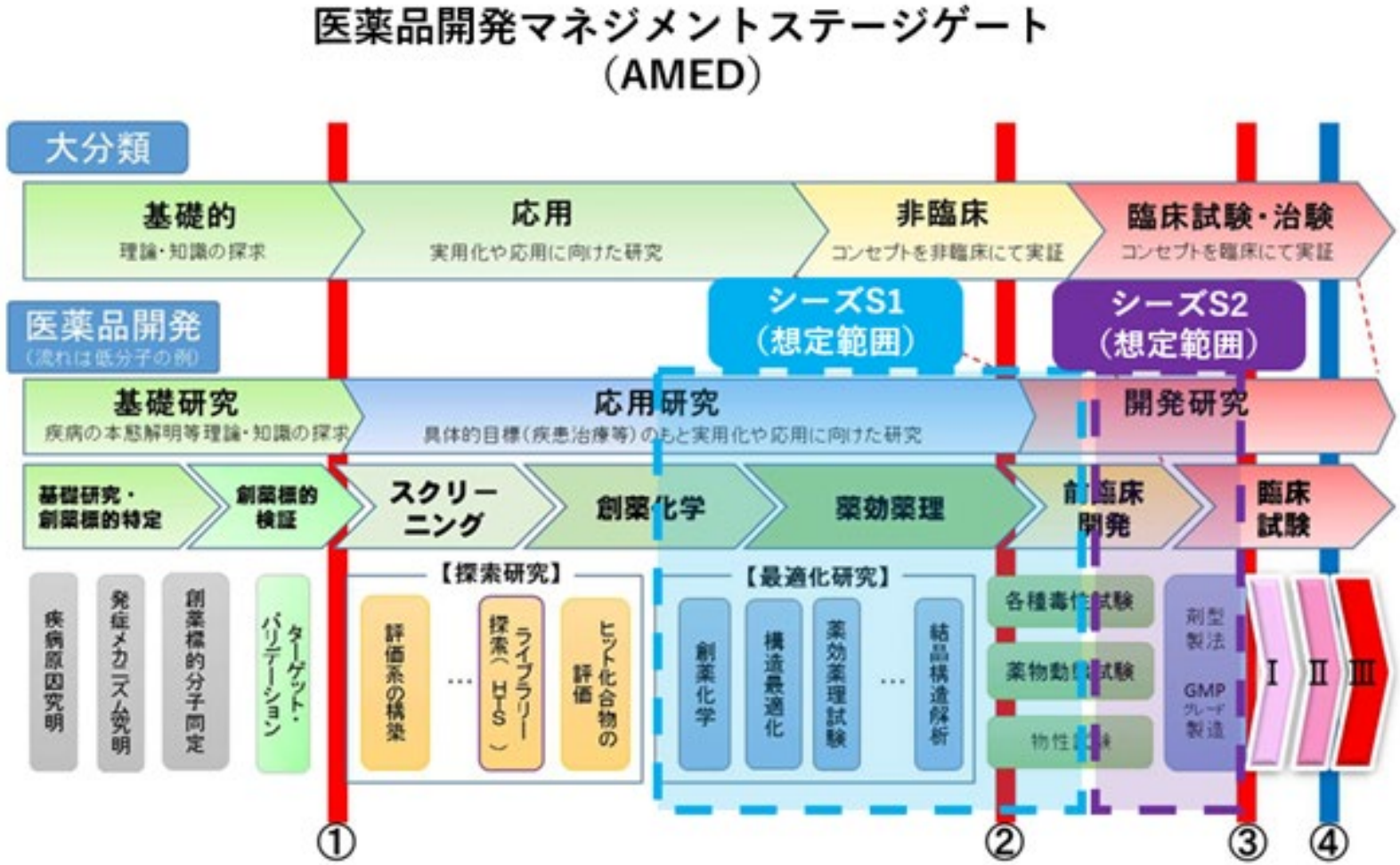
公募課題



シーズS0（若手育成）　シーズS1(起業前）　シーズS2（起業後）

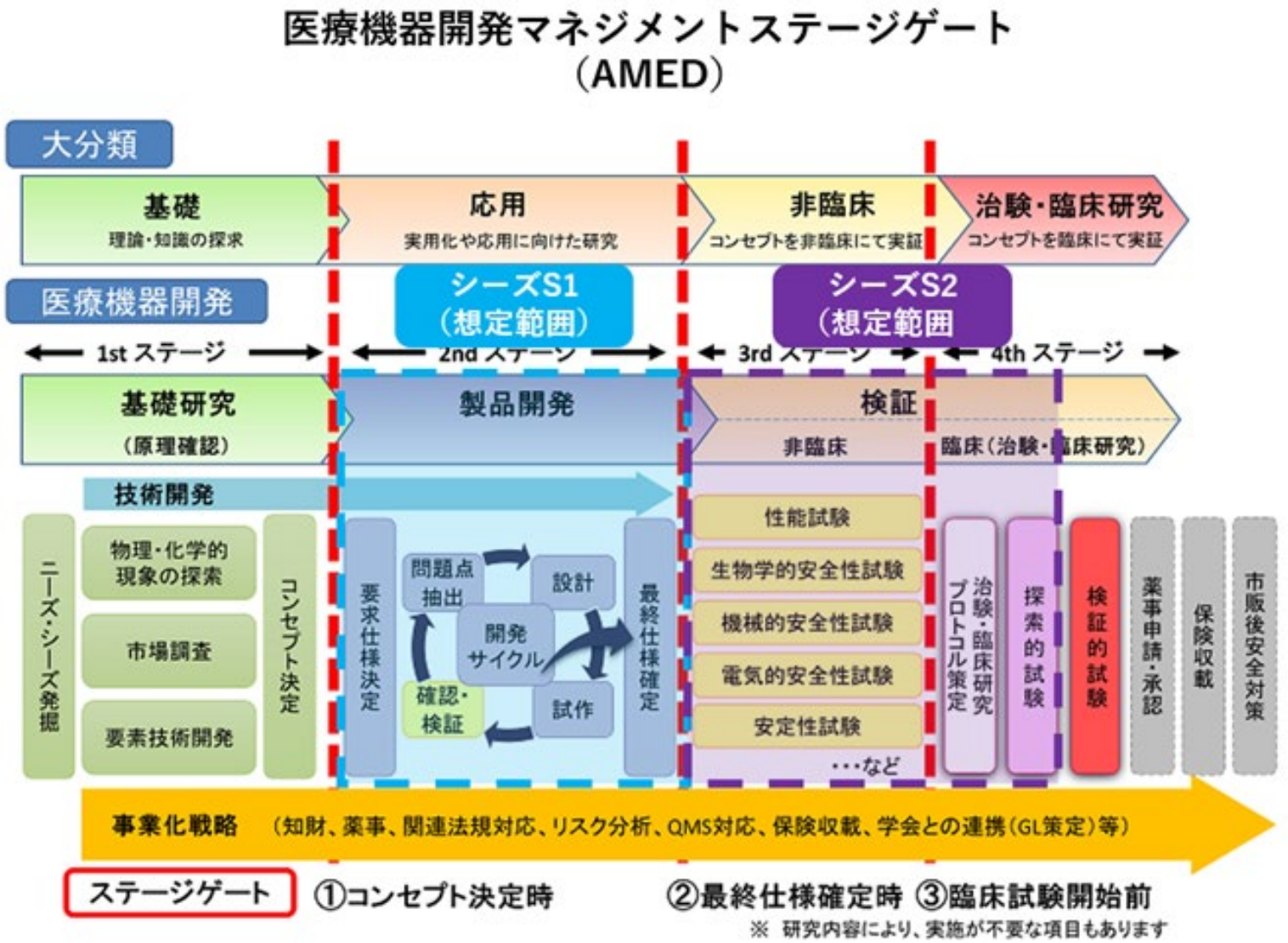
S0の公募は2027年春頃での実施予定

【参考図】各シーズの想定範囲（医薬品開発）

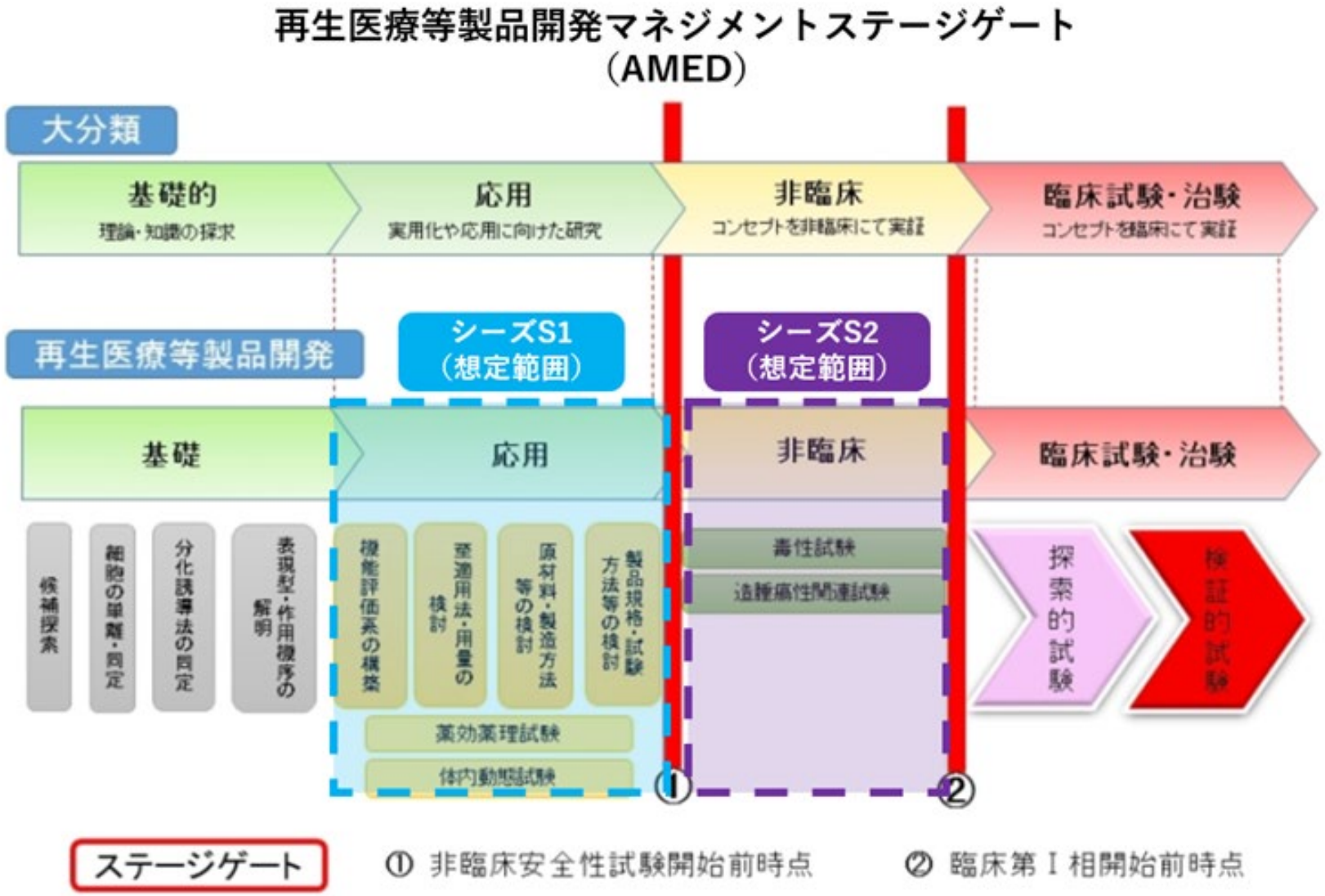


①創薬標的検証終了時点　②前臨床開発開始時点　③臨床第Ⅰ相開始前時点　④探索的試験終了時点

【参考図】各シーズの想定範囲（医療機器開発）



【参考図】各シーズの想定範囲（再生医療等製品開発）



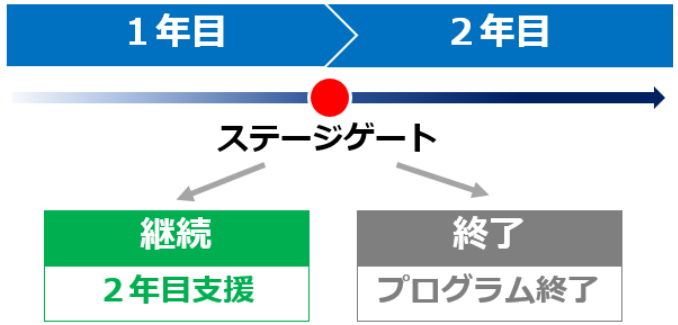
S1（起業前フェーズ）

対象：アカデミア研究者

研究開発	事業化
● 非臨床データ取得 ● 製造法確立 ● 製品試作　　等	● CEO候補確定 ● 資本政策の策定 ● 起業　　等

支援：

・研究費　3,000万円/年（最長２年）<u>１年目末にステージゲート評価あり</u>
・PM伴走、事業戦略支援、CxOマッチング 等



進捗状況を評価し
研究開発・事業化の進展が確認された課題のみ２年目支援を継続

S2（起業後スタートアップ）

対象：アカデミア発スタートアップ

- 起業後5年未満の未上場のスタートアップ
- これまでシリーズA相当の資金をVC等から未獲得

研究開発	事業化
● GLP試験 ● GMP製造 ● 第Ⅰ相試験の準備　等	● VCからの資金調達

支援：

・研究費　15,000万円/年（最長2年）
・PM伴走、開発戦略支援、事業戦略支援、CxOマッチング 等

望まれるシーズ



医療ニーズが明確
（対象患者・臨床課題が具体的）



技術の新規性・優位性
（既存技術との差別化）



実現可能な開発計画
（POCデータ・開発ステップ）



知財・事業化の見通し
（特許戦略・市場・チーム）

よくある不採択理由



技術説明だけになっている
（医療課題が不明確）



臨床的価値が説明されていない
（誰の何を改善するのかが不明）



開発の道筋が見えない
（次に何を検証するのか不明）



事業化の視点がない
（知財・市場・チームの記載が不足）

提出書類

必要な提出書類（共通）		
①	**（様式1）提案書**	• PDF形式（25枚以内、但し「シーズ情報」は5頁以内）
②	**（様式2）課題予算案**	• Excel形式（年単位で作成） • 単価が50万円以上の設備備品費・単価が100万円以上の外注費については**採択後**見積書も提出いただきます。
③	**（様式3）研究費の応募・受け入れ状況および利益相反について**	• Word形式
④	**グラフィカルアブストラクト**	• PDF形式 • 開発の背景、方法、成果等についてイラスト等を用いて1枚で要約した資料をご提出ください。
⑤	**概要資料**	• pdf形式 • 冒頭にexecutive summary（1枚）を含めてください。 • スライドは、グラフィカルアブストラクト１枚、その他スライド10枚程度でお願いします。（合計11枚以内） • ヒアリングのプレゼンテーションは、基本的には本スライドで実施して頂きます。

提出書類

必要な提出書類（S2のみ）
① 商業登記簿謄本(写) ② 定款 ③ 株主名簿 ④ 取締役・アドバイザーの略歴（アドバイザーは役割概要も記載） ⑤ 社内組織図 ⑥ 事業計画書 ⑦ 資本政策 ⑧ 応募シーズに関する支援期間内での開発ガントチャートと月次（又は四半期毎）資金計画 ⑨ 特許一覧(出願日、出願国、権利者、審査状況の情報含む) ⑩ 事業報告書（直近３年分） ⑪ 決算書（直近3年分）
上記提出書類は飽くまでも応募受付・審査補助資料ですので、これらに含まれる重要なポイントは、審査の主要書類である提案書・概要資料に適切に記載するようお願いします。

応募にあたっての主な注意点

応募前に以下の点をご確認ください

①他の競争的資金との関係

- ✓ 本事業で実施する研究内容は**他の研究費と明確に区分**する必要があります
- ✓ 同一研究内容の**重複受給は認められていません**
  ※特に他の橋渡し研究プログラムとの同時獲得は厳禁です
- ✓ 重複状況の確認のため**AMEDやJST等の関係機関へ照会する場合があります**

②起業を前提としたプログラム

- ✓ 本プログラムは、**大学発医療系スタートアップ創出**を目的としています。
- ✓ S1については、**支援期間内に起業すること**が求められます。

応募にあたっての主な注意点

応募前に以下の点をご確認ください

③採択後のプログラム参加

✓ 採択後は、
- ◆ PMによる伴走支援
- ◆ アントレプレナーシップ教育への参加
- ◆ DemoDay等のピッチイベントへの参加

等のプログラムに参加いただきます。

④成功報酬（S2のみ）

✓ S2に採択されたスタートアップについては**成功報酬として新株予約権を設定**させていただきます

※スタートアップの成長を妨げない条件で設定

応募前相談を歓迎しています

提案書「シーズ情報」

「シーズ情報」で記載いただく内容

① 研究概要
② サイエンス・技術の概要
③ 臨床価値
④ 開発実現性（現在のデータ）
⑤ 知的財産
⑥ 事業化計画
⑦ チーム構成

重要なポイント

✓ 医療ニーズ
✓ 技術の新規性・優位性
✓ 実現可能性（POC・開発計画）
✓ 事業化の可能性

拠点PMによる一次スクリーニングでは、
シーズ情報の内容を中心に実施いたします。

審査基準

①シーズ価値

プロジェクトの中長期マイルストーンである株式上場・M&Aを達成する際

10段階評価

✓社会インパクト
✓市場規模
✓収益性
✓革新性（独創性・新規性）
✓競合優位性・差別化
✓成長性・伸展性
✓ストーリー

×

②実行可能性

プロジェクトが同マイルストーンを達成する可能性

10段階評価

✓研究開発計画の妥当性・実行可能性
✓経営戦略（事業戦略）
✓ビジネスモデル
✓チーム構築
✓資本政策（資金調達）
✓必要資金・期間（経費内訳の妥当性）
✓パートナリング
✓提案者の資質・意欲

公募スケジュール

課題募集：11/2（月）～11/30（月）正午

個別相談
随時

「シーズ情報」の内容を中心に拠点PMによる一次スクリーニング

一次スクリーニング（12月上旬）

書面審査（12月中旬～1月中旬）

ヒアリング審査（2/4, 2/12）

いずれか日でのご対応となります

採否決定(3月上旬)

支援開始（4月1日）

※個別相談は随時お受けしておりますが、直前はお問合せが集中することが予想されます。**ご相談はお早めに**お願いいたします。

採択予定数

採択予定数	
S1	2 課題程度
S2	1課題程度

応募方法

専用サイトから、提案書等をダウンロードし、「応募フォーム」から提出

必要書類および申込

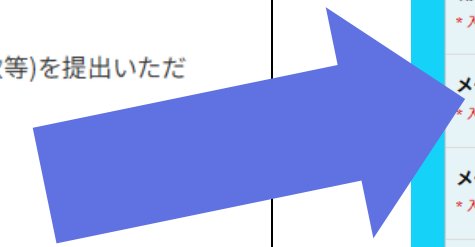
必要書類
①(様式1)提案書 ②(様式2)課題予算案 ③(様式3)研究費の応募・受入状況および利益相反について ④グラフティカルアブストラクト ⑤概要資料 (概要資料作成例) ⑥設立済みのスタートアップに関する書類<**S2応募者のみ**>

③開発の背景、方法、成果等についてイラスト等を用いて1枚で要約した資料をご提出ください。

④概要資料は、提案書に即した内容の資料を11枚以内のpptx形式にてご提出ください。
冒頭にグラフィカルアブストラクト(1枚)を含めてください。

⑤設立済みのスタートアップ企業に関する書類(商業登記簿謄本の写し、定款等)を提出いただきます。
詳細は公募要領をご確認ください。

シーズS応募フォーム



今回応募されるシーズを選んでください
* 入力必須項目
○ S0
○ S1
○ S2
クリア

研究開発課題名
* 入力必須項目
採択された場合、課題名はウェブ上で公開いたします。公開可能な名称にてお願いします。

代表者氏名
* 入力必須項目

大学名/企業名
* 入力必須項目

部署

職位
* 入力必須項目

メールアドレス
* 入力必須項目

メールアドレス【確認用】
* 入力必須項目

電話番号

お問合せ先

応募相談

公募内容に関するお問合せ・応募前の事前相談をご希望の方は以下のお問合せフォームよりご相談ください。お早目のご相談お待ちしております。

シーズSお問い合わせフォーム

その他問合せ先

九州大学 生命科学革新実現化拠点 橋渡研究推進部門

e-mail：nw-info★med.kyushu-u.ac.jp(★を@に変えてください。)

電話：092-642-4802/4553

過去の公募結果

- 2026年度 応募状況&採択課題
- 2025年度 応募状況&採択課題
- 2024年度 公募結果　2024年度 採択課題